

アートパーク10

「ラブ&ピース大作戦」

七月二日(日)、松戸中央公園で「アートパーク10」ラブ&ピース大作戦(主催/聖徳大学児童学研究所、聖徳大学生涯学習研究所)が開催されました。十回目の節目となる今回の「アートパーク」には、千四百四名の親子が集まり、学生とアートな遊びを一日楽しみました。

「アートパーク」は大学と地域が連携し、公園の新たな活用法や、外遊びの重要性を提案してきました。回を重ねる毎に、認知度も徐々に上がってきました。昨年に引き続き千葉大学園芸学部の下研究室やPARADISE AIR、市内の中学校五校の美術部から中学生と顧問の先生も参加しました。留学生、アティストも交えた今回は、よりワークショップの内容

にも幅が出ました。本学の教員養成の学びと地域団体の持つノウハウのコラボレーションは、準備の段階から刺激し合い、新たな学習の場が生まれています。

今回、十四のワークショップが公園各所で行われました。学内からは児童学科のゼミ(大成ゼミ、関口ゼミ、西園ゼミ、祓川ゼミ)や美



「まつどでかくれんぼ」うたっておどってLet's have a パレード!! (保育科岩崎Gr)

術部、保育科から三団体(北沢グループ、永井グループ、岩崎グループ)が参加。地域団体(保育園きぼうのたから・つばさ、まつど工房、じゅんびしつ、ハーモニー、まちづくり会議等)も楽しい企画を実施しました。また、昨年の経験者である四年生と児童学科児童文化コースの一年生が「おたすけ隊」となり、全体のサポートを行いました。

ワークショップは、段ボールで作った大きなカメレオンの下で絵具遊びをした「ハッピーカメレオン」(大成ゼミ)や、大切なものを入れる宝箱を制作した「みんなのたからじま」(北

沢グループ+きぼうのたから・つばさ)、岩崎グループは「まつどでかくれんぼ」のパレードを行いました。また、児童文化コース一年生が授業で作った「アンケート回収ロボット」は中学生と運営し、好評でした。

「アートパーク」は今後も地域と大学が連携し、公園を核に松戸のマンパワーが集結するプロジェクトとして発展することが期待されます。



「ハッピーカメレオン」(児童学科大成ゼミ)